日立ドラム式洗濯乾燥機専用置台据付説明書

■据え付け前に、洗濯乾燥機の据付説明書をよくお読みのうえ、正しく据え付けてください。
■水道栓の高さが125cm以上であることを確認して据え付けてください。
本体が水道栓にあたる場合があります。

⚠ 警告

水場禁止

浴室など湿気の多い場所や、風雨にさらされる場所には据え付けない
●感電や漏電による火災の恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

置台底面から手を押し込まない
●けがをする恐れがあります。

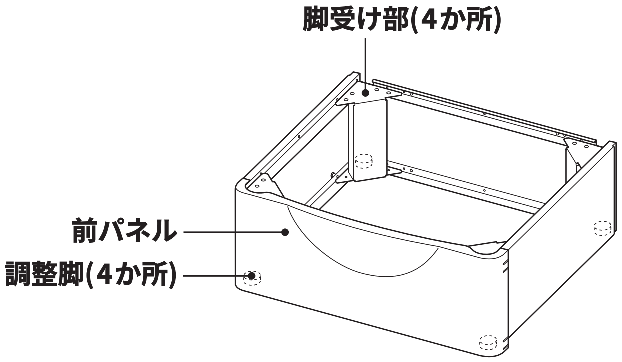
注意

組み立て、移動などの作業は、手袋をして作業を行う

注意

洗濯乾燥機は、二人以上で据え付ける
●本体が重いので、けがをしたり、腰を痛めることがあります。

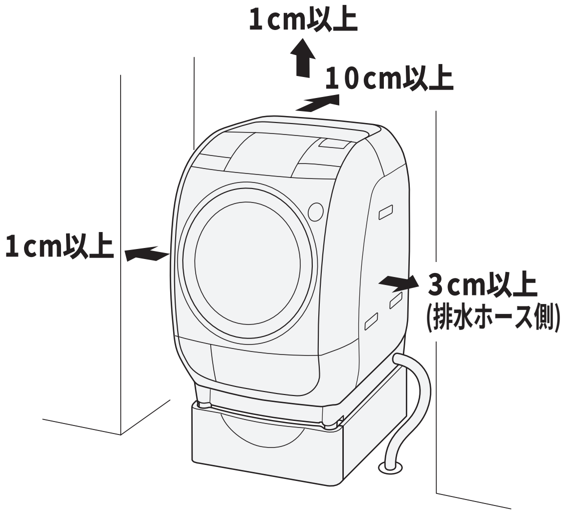
各部のなまえ



■据え付けの際には、置台が水平になるように、設置してください。
また、がたつきがあるときは調整脚で調整し、がたつきをなくしてください。
■据え付け後は、運転確認してください。
異常があるときは、再度調整し直してください。

1. 据え付け場所

■壁から離して据え付けてください。
●振動によって壁が傷ついたり、異常音が発生するのを防ぐためです。



●床面などが弱い場合は、補強工事は必要となる場合がります。

■しっかりした床に、水平に据え付けてください。
●すべりやすい床や、弱い床は、振動や騒音が大きくなることがあります。

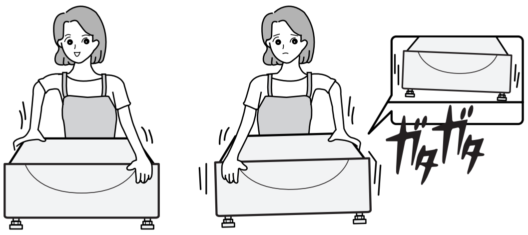
■直射日光が当る場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けないでください。
●本体内部の温度が異常に高くなったり変形したりします。

■有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を扱う場所には据え付けないでください。
●引火したり、プラスチック部品が故障する恐れがあります。

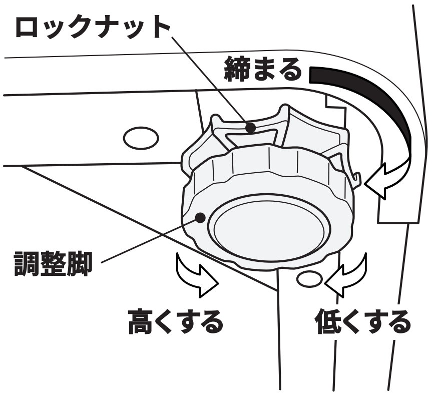
■屋外など凍結の恐れのある場所には、据え付けないでください。
●本体内部の残水が凍結し、思わぬ被害をまねくことがあります。

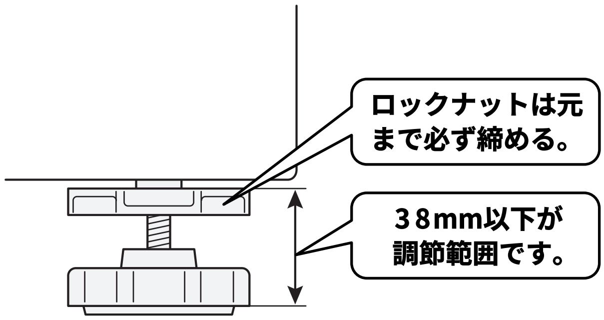
2. 据え付けかた

① 置台をゆり動かしてがたつきの有無を確認してください。



がたつきがある場合は、調整脚(4か所)を手で回して、がたつきをなくしてください。高さ調整をした場合は、ロックナットをきちんと締めてください。





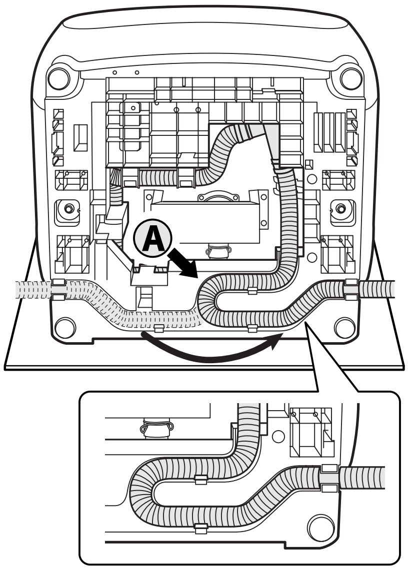
② 排水ホースの位置を確認する

排水口が置台の左右にある場合

洗濯乾燥機本体の据付説明書に記載の「排水ホースの付け換え」をご覧になり、排水ホースをセットしてください。（工場出荷時は左側から引き出されています。）

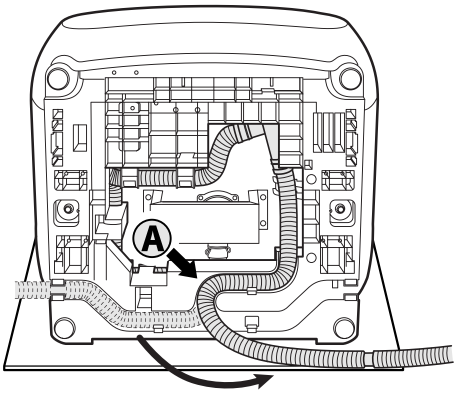
【右側から排水ホースを引き出す場合】

Ⓐ 部まで外して右側へ付け換えます。



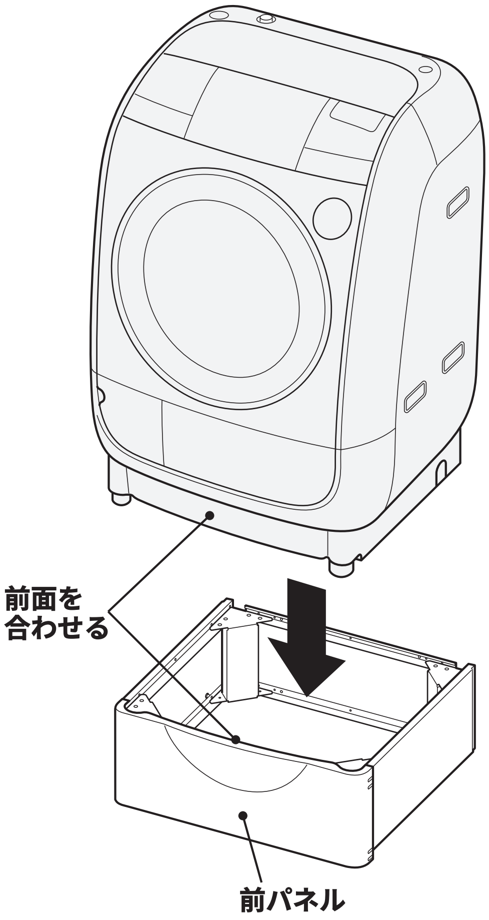
排水口が置台の下にある場合

排水ホースを Ⓐ 部まで外します。



③ 洗濯乾燥機を置台にのせる

下図のように、置台の前パネルと洗濯乾燥機の前面を合わせて、置台にのせてください。

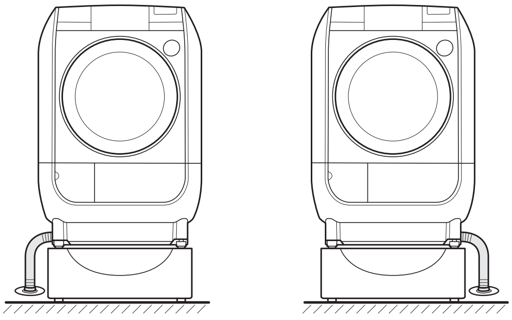


④ 排水ホースをセットする

排水口が置台の左右にある場合

排水ホースを排水口にセットしてください。

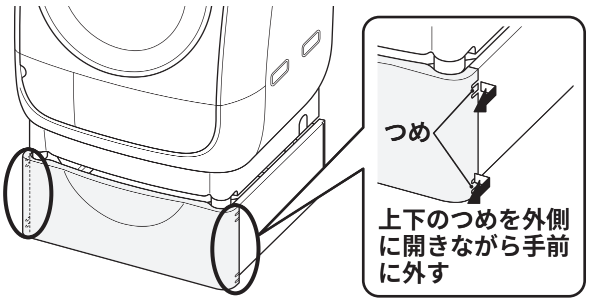
排水口が左側にある場合　　排水口が右側にある場合



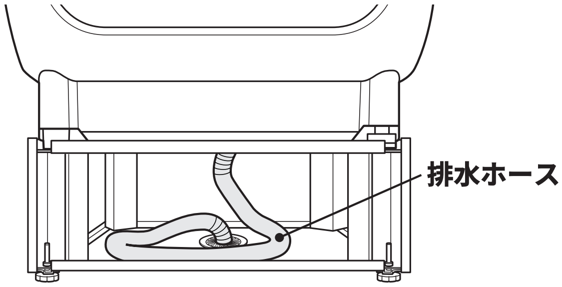
排水口が置台の下にある場合

1 置台の前パネルを開ける

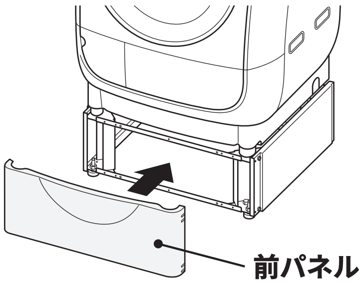
前パネル左右にある上下のつめを、外側に開きながら手前に外します。



2 排水ホースを排水口に接続する



3 前パネルを置台に取り付ける



3. 水平を確認

■洗濯乾燥機が水平に据え付けられていることを確認してください。
(洗濯乾燥機「据付説明書」参照)

4. 試運転

■がたつきなどにより、異常音や振動がないか確認してください。

●がたつきがあったり、水平に据え付けられていないと振動が大きくなったり、異常音の原因になります。

■排水ホース、および置台の下から水があふれてきた場合は、排水ホースの取り付けかたなどを確認してください。

●排水ホースは排水口にしっかり差し込まれていないと、振動などにより排水口から外れ、水漏れの恐れがあります。また、排水ホースの接続にゆとりを持って、本体に据え付けてください。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111